

季節は表紙の写真のようにもう少しで秋へとなります。夜が長くなるため長月（ながつき）という和風名があります。また、夜が長いので寝覚めがちなことから寝覚月（ねざめづき）の名もあります。

第27回参議院選挙も終わり2ヶ月が過ぎました。日本医師会の組織内候補として立候補された釜范先生は無事に自民党比例第8位で当選され活動を開始されました。まずは胸を撫で下された方も多いと思いますが、一方では自民・公明両党は過半数の議席を維持できず衆議院に続き参議院でも少数与党となりました。6月に骨太方針2025が閣議決定され、医療・介護・保育・福祉など公定価格の引き上げが明記されました。また、9月と言えば防災週間ですが、石破首相肝いりの防災庁設置の準備も進められています。しかし、両院とも少数与党となった今、どのようになるのか気になり寝覚月になっておられるのではないのでしょうか。

今回の選挙では参政党が躍進しました。年齢別投票志向では若い年齢層の支持が多かったようです。キャッチコピーは「日本人ファースト参政党。」でした。他の党のものはたとえば、自民党は「この国を動かす責任がある」、公明党は「やると言ったら、やり切る。」、立憲民主党は「物価高から、あなたを守り抜く」、日本維新の会は「社会保険料から、暮らしを変える。」、共産党は「物価高騰から暮らしを守り、

平和で希望が持てる新しい日本を」、れいわ新選組は「れいわ、以外ある?」、社民党は「がんこに平和! ミサイルよりコメを!」、日本保守党は「日本を豊かに、強く。失われた30年を終わらせよう」、みんなでつくる党は、「命と尊厳を守る」となっていました。ここで、その内容はさて置き、インパクトや記憶に残る観点からキャッチコピーアワードを選ぶとしたらどれが選ばれるのでしょうか。

さて、キャッチコピーといえば、沖縄県医師会65歳未満健康・死亡率改善プロジェクトの愛称が「健康長寿復活プロジェクト」に決まりました。県民に分かりやすく親しみやすいコピーになっていると思います。本プロジェクトが広く認知され浸透することを期待しています。

緑陰随筆で賑やかだった8月号と比べると9月号は少し寂しい印象かもしれません。これも盛夏が終わり「もう少しで秋」に向かっているからでしょうか。しかし、本号も会員の皆様にお伝えするべき、県医師会、九州医師連合会、日本医師会での重要事項が報告されています。そして、第138回沖縄県医師会医学会総会報告、生涯教育、月間行事、インタビューコーナーとHOTな内容となっています。スリムながらも充実した広報誌となっていますので、是非ご一読下さい。

広報委員 出口 宝

